

クロスワードタイム

ほんの少し暑さも和らぎ、身体がだいぶ楽になりました。夏に疲れた胃腸を立て直して、食欲の秋に備えましょう。二重枠の言葉を並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合、Compassの感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様にクオカードを贈呈します。

■×切:10月28日(金) ■宛先:mail → info@nikkenkyo.jp はがき → 〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 ワイム高田馬場ビル3F 日建協クロスワード係

ヒント: 現在、大規模な改修工事が行われています。

1	2	3	4	5	6	7	8
9							10
		11				12	
13	14			15	16		17
18			19			20	
21					22		23
24				25	26	27	
		28			29		30
		31			32		33
34					35		

ヨコのカギ

- 自分の言いたいことを勝手気ままに口に出して言うこと。また、そのさま。
- 大人を子供のように軽く見くびって扱うこと。子供あらしい。
- 「押す」や「足す」の対義語。
- 値段の安いこと。また、そのさま。
- 巻貝の貝がらに体を収め、貝がらを背負って生活する甲殻類のこと。
- 扇や傘などに張るために、その形に切った紙。
- alwaysを和訳すると…
- 皇室の紋章にも使われている植物といえば…
- 酒などに、酔うこと。また、酔った状態。
- 江戸三座(中村座・市村座・森田座)などで用いた看板。また、それに似せて作り京坂の歌舞伎劇場で用いた看板。
- 雨水を集めて排出するために設けた溝。
- 生物にとって有害、悪影響をおよぼす物のこと。
- 社会やある組織の中で、人や物の占めている位置。身分や立場など。
- パソコンなどで、標準的に備えられている以外の文字。
- 江戸時代、上級武士、特に諸國の大名が江戸市中に設けて平常の住まいとした屋敷。
- ご祝儀袋などについた飾りのこと。
- 学級。組。
- 鉄道で、乗客を乗せるための車両。
- イタリア語で芸術の大家、巨匠のこと。
- 曲げたり伸ばしたりすること。かがんだり伸びたりすること。

タテのカギ

- いかにも外国らしい風物がかもしだす、わが国のものとは異なる雰囲気や趣。エキゾチズム。
- 地下深く掘り、地下水を汲みあげるようにしたもの。
- 竹や針金の枠に袋状の網を張り、柄をつけ、魚をすくうのに使う小形の網。
- 心をなくさめ、労をねぎらうこと。
- 「中島ゆき」「大黒摩季」「吉田美和(DREAMS COME TRUE)」の出身地は?
- 昆虫が、サナギや幼虫から、成虫になること。
- 野球で、本塁と三つの塁に囲まれた部分。
- 福井県、石川県、富山県といえは「〇〇〇〇3県」。
- 新潟県出身で元スキージャンプの選手。メガネがトレードマークの売れっ子ユーチューバー。
- 堤防の外側(堤外地)にある河川を流れる水。
- 代表作は「浦田行進曲」。劇作家の〇〇ころへい
- 経済の専門家。
- 大麦の種子を発芽させたもので、ビールやウイスキーの原料となる。
- 手品師。魔術師。
- 心が知覚を有しているときの状態。「〇〇を取り戻す」。
- ぼたん鍋といったら、この動物の肉を使っています。
- 志村けんらの歌でもおなじみの鳥。「〇〇〇の勝手にしょ〜♪」
- 団体内で協議して決めた規則。
- ハタ科の海水魚。全長1メートルに達し、大物は「もちこ」ともよばれます。
- 足を覆うように作った履物の総称。

Vol.827クロスワード 正解と当選

答えは「ハルウララ(春うらら)」でした。

カ	イ	ガ	イ	リ	ヨ	コ	ウ	キ
カ	ル	イ	シ	ハ	ラ	イ	サ	ゲ
ク	ス	リ	バ	コ	ボ	ン	ジ	ン
キ	ヤ	シ	ン	カ	ド	ン	ス	
ヨ	ヤ	ク	ゴ	カ	ウ	ギ		
ウ	ラ	ド	ウ	ラ	ク	ズ	キ	
ソ	セ	イ	ダ	イ	ヤ	ラ	ム	
ウ	ク	ラ	ブ	ス	イ	ク	チ	
カ	セ	グ	ル	マ	エ	ユ		
ハ	ラ	イ	ス	ル	メ	ケ	ウ	

多数のご応募ありがとうございました。次の当選者の方々にクオカードをお送りしました。

舟橋葉子(青木あすなろ)、千葉美穂子、大櫛守幸、車塚美知子(アサヌマ)、千野雅紀(安藤ハザマ)、三谷弘真、五宝久充、景山結衣、伊庭花子(奥村)、星野順平、林宏香(鴻池)、石田翔真(佐藤)、仁木由利子(大日本)、菅原浩(鉄建)、野元伸、古畑亜佑美、坂本佳理、堀江亮介、加瀬隆文(東洋)、中野敬介(戸田)、高田美穂、井口佳美、池田佳南、柿田修平、熊澤奈弥(西松)、森幸代(JS)、坂根海征(野村)、廣瀬明子(丸彦)、寺田将人(松村)、鳥居育代(名工) <敬称略>

編集後記

日建協第99回定期大会を8月1日、2日に開催しました。今年度もWebを併用しての開催となりましたが、全国から多くの加盟組合の代表の方々に集まりいただき、2日間にわたって審議・討議を行いました。大会は滞りなく終了し、新執行委員が選任されるとともに、活動方針等のすべての議案が承認され、2022年度の日建協活動がスタートしました。

議案審議では、出席者から多くの意見や要望が寄せられ、新任執行委員の私にとって、あらためて現状の課題やこれからのすべきことを認識することができ、身の引き締まる思いでした。

今年度は日建協ビジョン2030「誰もがいつまでも働ける 誰からも誇りに思われる産業」の実現にむけた具体的な取り組みを進めていきますので、ご支援・ご協力をお願いします。

今後も機関誌「Compass」は、タイムリーな情報を織り交ぜながら、組合員の皆さんに少しでも役に立つ情報を発信していきますので、変わらぬご愛顧を宜しくお願いします。

もや 航い

「道」という漢字は色々な意味がある。武道や仏教といった教えという意味。道理やことわりを表す意味。人や乗り物が通るための道といったようにパッと思いつくだけでもいくつかある。中学生の頃に人生を道に例えた論文を書いたが目の見ることはなかった。今回は当時の内容を今更ながら世に出したい。

私の故郷はお世辞にも治安が良いと言える街ではない。名前を聞けば「危ない街だよ」といったネガティブなイメージを思い浮かべるだろう。確かに私自身も育ちは悪いし、地元の友人も同じような人間が多い。私はそんな街で社会人になるまで過ごした。いろんな事件に巻き込まれたし、ちょっと信じられない経験もしたと自負している。道に例えるなら崖からいつ落ちてもおかしくないような険しく危険な道だ。実際、崖から落ちてしまった友人もいる。

恵まれた環境に生まれた人は高速道路を走っていると。小さい頃から「いい学校に入るんだ」「友人は選んでは

がいい」と周りのナビゲーションによって高速道路を選択させられている。これが恵まれているかどうかは個人の感じ方によるが、現在の日本社会においては恵まれていると思う。極力不幸を回避できるいい道だ。

そんな「高速道路」を恵まれていると思うが、羨ましいと思うことはなかった。険しく危険な道にも良さがある。高速道路はスピードが速いし、寄り道することも難しい。しかし、高速道路以外の道なら色々な人間に会えるし、遠回りかもしれないが色々な場所に行くこともできる。色々な種類の人間に会えたことは大きな経験であり、今の私を形成している。辛いことも大変なこともあったが、険しい道を歩いてきてよかったと心の底から思っている。サラリーマンになった今はさすがに危険な道ではないが、今も険しい道と思っているし、これからも険しい道を歩みたい。皆さんはどんな道を歩んできましたか?

(時計台で待ち合わせする市民)